

設備システム工学科の生徒に

インタビュー！

設備システム工学科の方に授業や学校生活についてお話を伺いました。

○インタビューを受けてくださった方

山本 怜佳さん

設備システム工学科の3年生。設備システム研究部に所属し、BIM やプロジェクトマップピング等の先端技術に取り組んでいる。

石川 蓮さん

設備システム工学科の2年生。学習に意欲を持って取り組んでいる。

どんなことを勉強するの？

—専門教科の中で、特に好きな専門教科を教えてください。

山本 実習です。

管工事、空調、電気工事、溶接、CAD、衛生(トイレや、水道の仕組み・構造の勉強)など、唯一工業でしか触れられない機械や工具に触れて物を作る技術やエアコン設置など、全て初めてやる事なので、新たな発見が出来るからです。

石川 設備計画です。

設備計画と言っても幅広く、空調に関すること以外にも建築材料や金属材料の性質についてなど、建築についても勉強します。身近な生活に関わる技術について知ることが出来る所が面白いと感じます。

—これまでの実習の中で、特に楽しかった実習を教えてください。

山本 管工事、電気工事、CAD、住宅模型です。

管工事は、鋼管・銅管などを工具を使って組み立て、電気工事は回路を最初から組み立てていきます。CAD は archicad というソフトで、モデリングした建物の構造や仕組みなどの知識を身につけられます。また、住宅模型は手で模型を作ることが出来ます。私は作品を作って完成するまでの工程が好きで、常に作業ができる事や実習を通して新しい知識や技術を身に付けられる楽しさがあります。

石川 CAD 実習です。

コンピューターで、CAD を使って立体の図形や部品などの造形を行いました。CAD を使いこなせるようになれば、自分の作りたい家具の造形なども行えるようになるので、出来ることが増えていくのが楽しく感じます。

専門教科って難しいの？

—専門教科と聞くと難しそうですが、ついていくのは大変ですか。

山本 大変とは思わないです。専門的な用語や、計算がたくさんありますが、先生方の分かりやすい説明で初めて触れる事でも安心して学ぶことができ、もっと学びたい気持ちになります。

石川 専門というと確かに難しく聞こえるかもしれませんが、そこまで大変と感じるようなものはないと思います。本質まで理解して職場や先の大学、専門学校で使えるように勉強するとなるとさすがに大変ですが、先生方も優しく分かりやすく教えてくださいるので心配する必要はないと思います。

どんな資格・検定を取得するの？

—これまでに取得した・取得を目指した資格や検定の中で、特に頑張ったものについて教えてください。

山本 情報処理検定3級、計算技術検定3級、建設経理事務検定3級・4級です。

情報処理検定は、パソコンの Excel を使って与えられた問題を条件に沿って時間内に打ちます。計算技術検定では時間内に電卓で間違えないように計算し、建設業経理事務検定は建設業界にかかる費用の計算をします。3つとも短期間で繰り返し練習して取得を目指します。

石川 小規模ボイラー技士です。

ボイラーに関わる国家資格で、「ボイラー」を扱い、熱を作って供給する事が出来ます。「ボイラー取扱技能講習」を受けて試験に合格することで取得できます。講習の中で重要な所は言って貰えるので、話をしっかり聞いていれば受かります。

どんな先生が教えて下さるの？

—設備システム工学科の自慢の先生を教えてください。

山本 設備の知識だけでなく、プログラミングの面など幅広い知識を私たちに教えてくださる先生がいます。授業だけでなく、部活動でもお世話になっていて関わる機会が多いからこそ、たくさん話をしてそこで知識を身につけ、卒業後の進路に可能性を広げてくださいます。

石川 独学でCADを勉強していた先生が僕たちに教えてくれます。また、電気工事士の資格を持った先生が電気工事を教えてください。



どのように部活に取り組んでいるの？

—所属している部活動と部活動で頑張っている事を教えてください。

山本 設備システム研究部です。

この部活動は普段の専門科よりもっと深く学ぶことが出来ます。Touch Designer というソフトを使い、プロジェクトマップピングやCO₂濃度の測定など行いました。私達部員が身につけた専門的な知識をより多くの人に実際に体験して知ってもらえるようにイベントに参加し共有しています。

石川 バスケットボール部です。

僕自身はあくまで体力づくりとして部活を行っているのですが、ベスト8を目指して日々練習に励んでいます。

—部活動と勉強の両立をどのように頑張っているのですか。

山本 専門科の部活動なので授業で専門的な知識を身に付けて、部活動では新たな知識や技術を身につけたりと、部活で学んだことが授業で役に立って理解しやすいのでうまく両立することができます。

石川 部活動や勉強に限らず趣味でもいいので、何か目標ややりたいことを見つけて頑張っていると、自然と自分に自信がついて他のことにも意欲がでて頑張ることが出来ます。

中学生へメッセージ

山本 普通科の学校では学べないことを学ぶことができ、ものづくりや設備では生活に無くてはならないライフラインを3年間で学ぶことが出来ます。他にも、就職率が高く、将来設備関係の仕事に就職したいと考えている方は是非設備システム科で学びましょう。

石川 設備システム工学科では、エアコンや電気やガスなどとても身近な物の仕組みについて学んだり、実際にエアコンなどの設備機器を見て触って、取り扱いを習得できます。数学や理科が苦手な人でも、実習を通して理解を深める事が出来るので安心して来てください!

—インタビューを受けてくださり、ありがとうございました。

山本・石川 ありがとうございました。

インタビューを終えて

設備システム工学科は普段身近にあるエアコンなどの仕組みや構造について、詳しく学ぶことができるとも面白い学科だと感じました。興味をもって貰えたら、是非一度、設備システム工学科を見学してみたいでしょうか。

この記事は令和4年12月時点の情報です。

作成：令和4年度 後期生徒会